

令和4年 竹田市水稲管理情報 第5号

令和4年

7月

いもち病 稲こうじ病

の対策はお済みですか？

昨年竹田市では多発生しました！

どちらも日照不足と多湿条件が続くと発生が多くみられます！



○いもち病

前年の被害わらやもみ殻が伝染源となる。

①葉いもち

葉いもちは穂いもちへの感染源にもなるので少発生で抑える事が肝要。

②穂いもち(基幹防除)

多発生が予想される場合、「出穂2週間前の粒剤施用と穂揃期の液剤か粉剤の散布」もしくは「穂ばらみ期と穂揃期の液剤、粉剤による2回散布」を行う。

○稲こうじ病

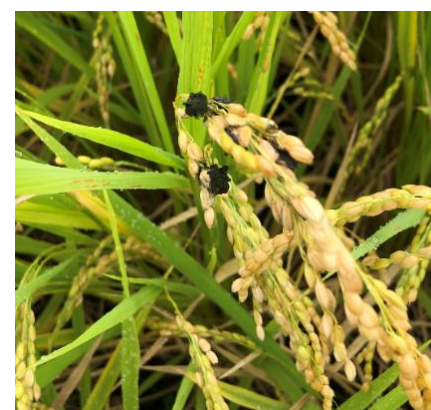
土壌病害であり、籾にのみ発生。晩期追肥した圃場や山際など日照不足になる圃場が多い。また、圃場に落ちた胞子が翌年の伝染源となるため、前年多かった方は注意！



葉いもち



穂いもち



稲こうじ病

・病害対策の薬剤(一例)

いもち病	使用量(10a)	散布時期	使用回数
コラトップ粒剤5	3kg	出穂5日～30日前 (葉いもち:初発10日～5日前まで)	2回以内
ビームエイトスタークルゾル	60～150L (1000倍希釈)	穂ばらみ期～穂揃期(収穫7日前まで)	3回以内
トリスタークル粉剤DL	3～4kg	穂ばらみ期～穂揃期(収穫14日前まで)	2回以内
ゴウケツモンスター粒剤	3kg	出穂5日前まで(但し収穫45日前まで)	1回以内

稲こうじ病	使用量(10a)	散布適期※	使用回数
Zボルドー粉剤DL	3～4kg	出穂20～10日前	-
ドイツボルドーA	60～150L (2000倍希釈)	出穂10日前まで	-
ゴウケツモンスター粒剤	3kg	出穂21～14日前	1回以内

※登録上散布していい時期が記載されてますが、散布適期は上記の通りです！

品種によって出穂期が異なるため各品種の適期散布を心がけましょう！



←大分県内でのいもち病発生予測が見られる **BLASTAM(ブラスタム)** も是非活用ください！
発生指標や過去のデータも確認できます！



豊肥振興局HPからカラーで見れます！